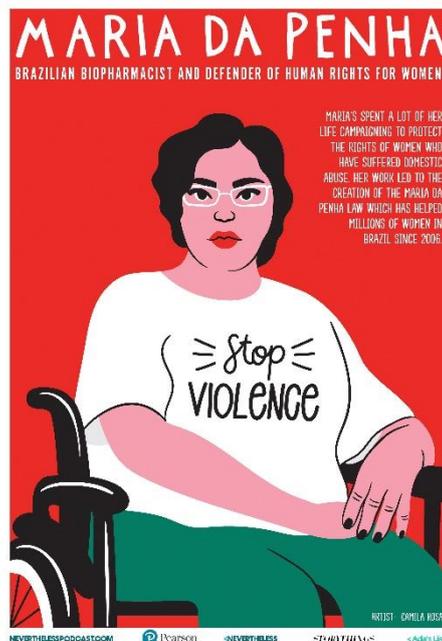


HOPS 国際フェロー・プログラム 「女性リーダー育成支援フェローシップ」募集要項

2020年5月

北海道大学公共政策大学院 (HOPS)

北海道大学公共政策大学院は、すべての人が能力を発揮できる豊かな社会を目指し、女性の活躍を支援しています。その一環として、女性の国際的な活動を奨励するための事業を実施します。本フェローシップは、学生が海外にて実施する聞き取り調査やアンケート調査、フィールドワーク、資料収集などに対し、調査費用の一部を支援するものです。また調査の計画・実施にあたっては教員からメンタリングを受けることができます。



- **プログラム内容** HOPS に所属する女子学生が海外で実施する聞き取り調査、アンケート調査、フィールドワーク、資料収集等について、調査費用の一部を補助します。また、調査の計画・実施にあたっては教員によるメンタリングの機会を提供します。調査の時期、期間、方法、場所に特段の制限はありません。ただし、外務省により渡航が制限されている地域で調査を行うことはできません。

奨学金は、応募者の提出する調査計画・調査経費試算に基づき、国際交流委員会が適当と認める額を支給します。ただし下記の表に定める額が支給の上限となります。

地域区分	支給上限
指定都市	30万円
甲地域	25万円
乙地域・丙地域	20万円

※地域区分は独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) の国・地域コード表に従う。

(https://www.jasso.go.jp/sp/ryugaku/study_a/scholarship/haken/index.html)

- **募集時期**：随時。ただし調査開始日の二か月前までには応募すること。また在学期間を超えて調査を実施することはできません。

- **応募資格** 次の各号のすべてに該当するもの
 - (1) HOPS に在学中の者のうち、基準特別選考、一般選考、社会人特別選考のいずれかの合格者として入学した女性
 - (2) 公共政策に強い関心をもち、調査を計画・実施する能力を持つもの
- **提出書類**：以下の書類を、法学研究科・法学部教務担当に提出すること。
 - (1) 応募用紙
 - (2) 調査計画書（形式自由）
 - (3) 調査費用の見積り（形式自由）
- **選考方法**：書類審査と面接選考による。選考の基準は下記のとおり。
 - (1) 調査目的が明確である。
 - (2) 調査計画および予算案が目的に照らし合わせて適切である。
 - (3) 応募者が十分な調査遂行能力を有する。
 - (4) 調査により応募者の研究・政策立案能力の向上が見込まれる。
- **募集定員**：若干名
- **単位認定**：本フェローシップの支援を受けて実施された調査につき、一定の学習効果が認められるものについては、単位認定を行うことができます。単位認定を希望するものは、調査を指導する教員ないし下記のフェローシップ担当教員へ事前に相談してください。ただし卒業年次の第二学期に実施されたプログラムについては卒業に必要な単位として算入することはできません。
- **問い合わせ先** プログラム上の不明点は、国際交流委員会委員長・小濱准教授（skohama[at]juris.hokudai.ac.jp）に、手続き上の不明点は、法学研究科・法学部教務担当（TEL:011-706-3120、kyomu[at]juris.hokudai.ac.jp）に問い合わせてください。
- **COVID-19 の感染拡大防止のため、本学の方針により、2020 年度第一学期は海外渡航を伴うプログラムを実施することはできません。ただし、2020 年度第二学期以降に実施予定のプログラムについての申請を行うことはできます。**